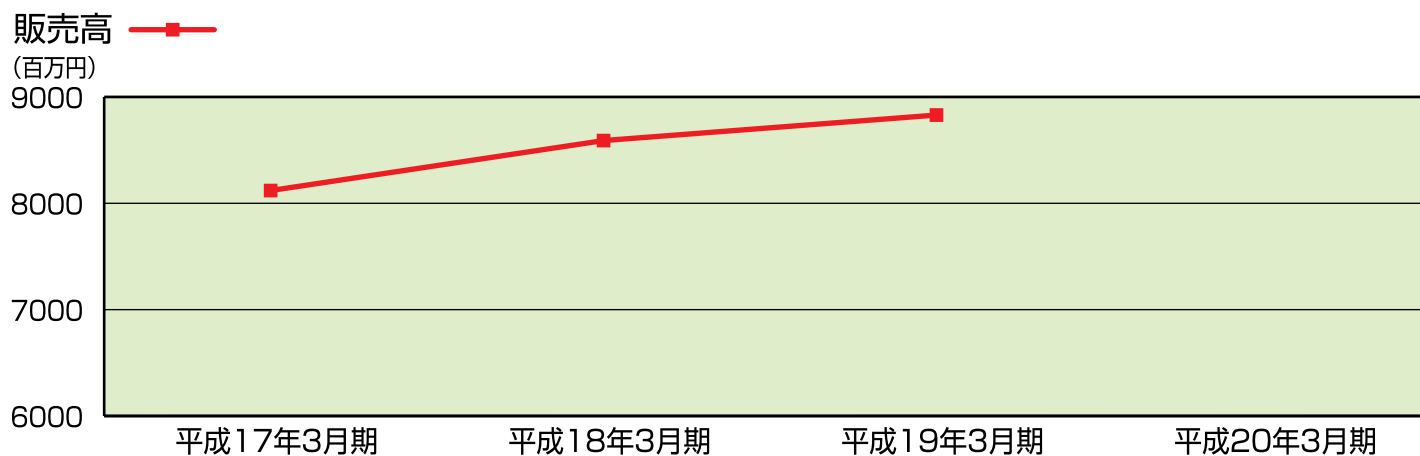


販売実績

(単位:百万円)

種 類	販 売 高				
	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	3,724	3,739	3,893		%
製材、木工、その他産業用チップソー・刃物	3,231	3,649	3,733		%
製材、木工、その他産業用機械・その他	1,104	1,168	1,170		%
そ の 他	59	33	32		%
合 計	8,120	8,590	8,830		%



平成20年の数値ありません。



天龍製鋸株式會社

平成20年3月期
決算説明資料

平成20年5月15日

お問い合わせ：☎ 0538-23-6111

E-mail : info @ tenryu-saw.com

業績の概要

2

《連結》

- 売上高：
9,217 百万円
- 経常利益：
1,576 百万円
- 当期純利益：
908 百万円

■ 経済の動向

当期におけるわが国経済は、昨年夏以降の建築基準法改正による住宅着工戸数の大幅な減少に加え、原油高・原材料高と昨年末以降急速に進行した円高ドル安等により企業業績が圧迫され、景気の回復が鈍化しました。

海外経済情勢では、米国に端を発したサブプライムローン問題の影響による金融市場の混乱により、米国では住宅投資の減少に止まらず急速に景気の減速感を強め、欧州においても景気に陰りが見え始めました。

■ 営業の動向

このような情勢の中で、当社グループは、住宅関連産業の急激な冷え込みにより米国子会社の売上は減少しましたが、中国子会社と日本では受注の増加により前期を上回る売上となり、グループ全体では前期を上回る販売実績となりました。

なお、当期純利益の対前年同期比減少の主な要因は、前期の退職金制度変更による特別利益582百万円と、当期における当社株式の公開買付・買収防衛策導入等に係る特別損失165百万円の発生等によるものです。

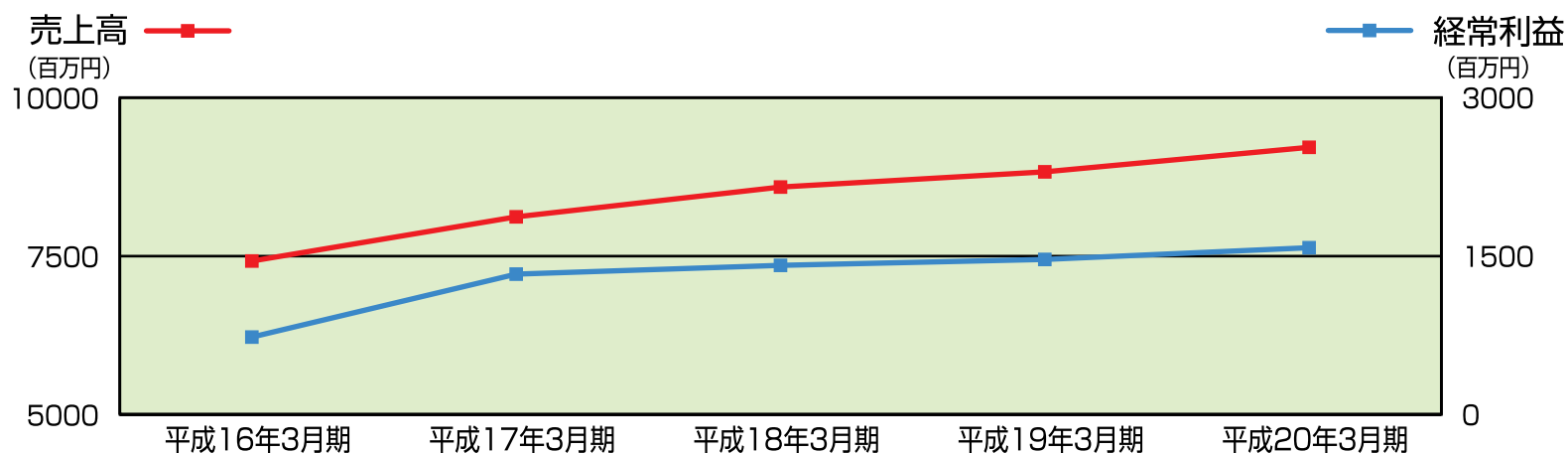
この結果、当期の連結売上高は9,217百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益1,530百万円（前年同期比16.6%増）、経常利益1,576百万円（前年同期比7.6%増）、当期純利益908百万円（前年同期比27.9%減）の増収減益となりました。

連結決算の概要

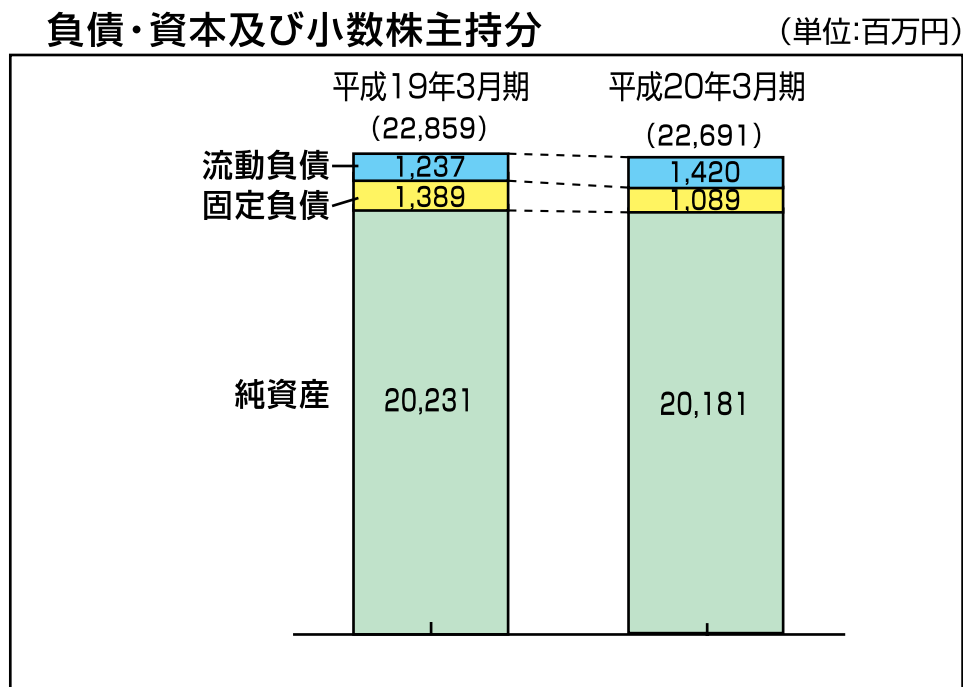
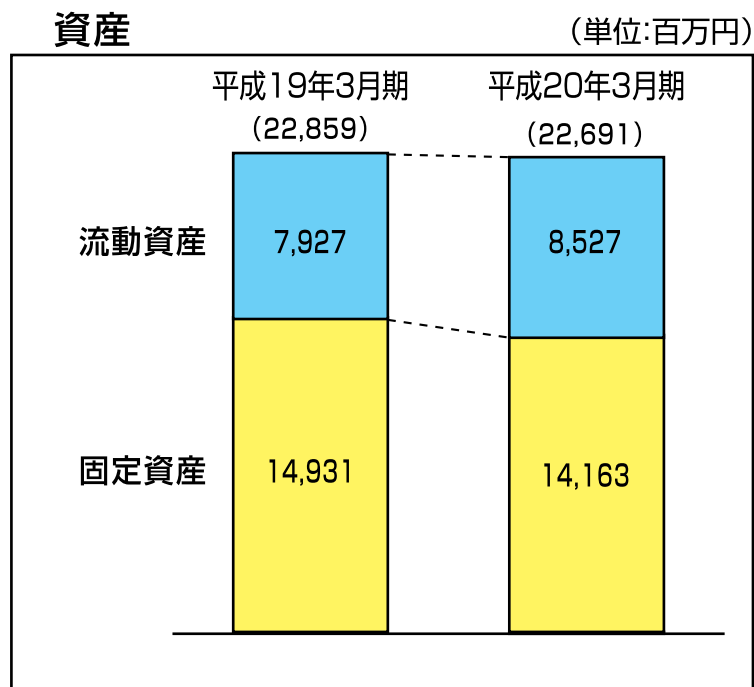
(単位:百万円)

	平成16年 3月期	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期	増減額 (増減率)
売上高	7,423	8,120	8,590	8,830	9,217	387 (4.4%)
営業利益	804	1,121	1,165	1,313	1,530	217 (16.6%)
経常利益	730	1,326	1,409	1,465	1,576	111 (7.6%)
当期純利益	481	859	994	1,260	908	△352 (△27.9%)

連結ハイライト数値推移



期末連結貸借対照表



■ 資産増減：△167百万円

〈増減内訳〉

- 流動資産：600百万円
 - 現金・預金：556
 - 有価証券：199
 - たな卸資産：143
 - 受取手形・売掛金：△59
- 固定資産：△767百万円
 - 有形固定資産：△22
 - 投資有価証券：△785

■ 負債・資本増減：△167百万円

〈増減内訳〉

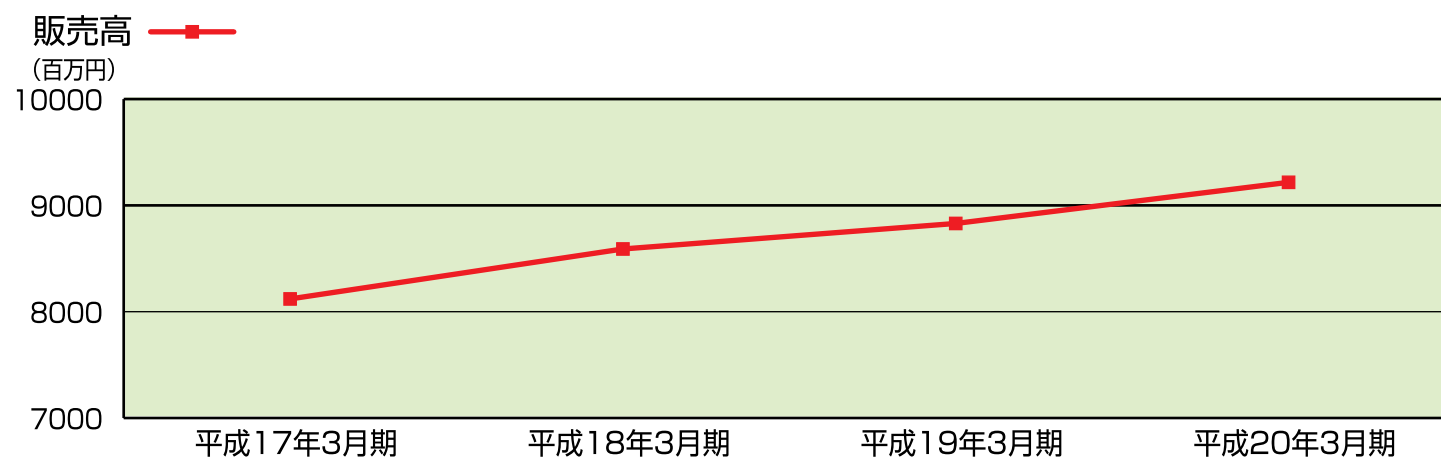
- 流動負債：182百万円
 - 未払法人税：157
 - 支払手形・買掛金：102
- 固定負債：△299百万円
 - 役員退職給付引当金：△29
 - 繰延税金負債：△270
- 純資産：△50百万円
 - 利益剰余金：469
 - 為替換算調整勘定：19
 - 自己株式：△107
 - その他有価証券評価差額金：△431

販売実績

6

(単位:百万円)

種 類	販 売 高				
	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	3,724	3,739	3,893	4,008	3.0%
製材、木工、その他産業用チップソー・刃物	3,231	3,649	3,733	3,975	6.5%
製材、木工、その他産業用機械・その他	1,104	1,168	1,170	1,205	3.0%
そ の 他	59	33	32	27	△13.9%
合 計	8,120	8,590	8,830	9,217	4.4%

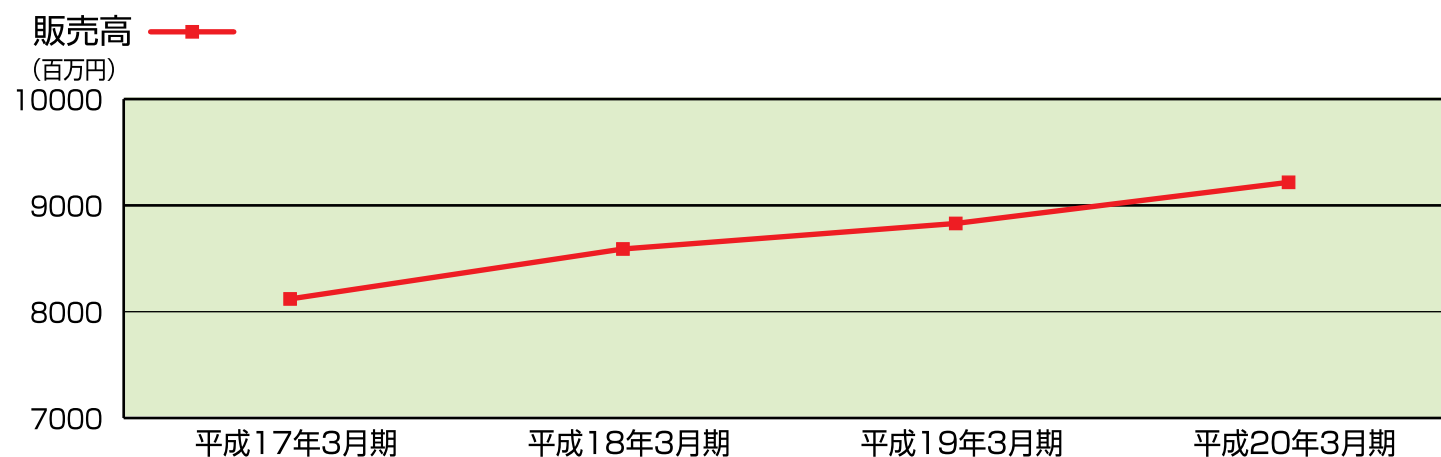


販売実績

6

(単位:百万円)

種 類	販 売 高				
	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成20年 3月期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	3,724	3,739	3,893	4,008	3.0%
製材、木工、その他産業用チップソー・刃物	3,231	3,649	3,733	3,975	6.5%
製材、木工、その他産業用機械・その他	1,104	1,168	1,170	1,205	3.0%
そ の 他	59	33	32	27	△13.9%
合 計	8,120	8,590	8,830	9,217	4.4%

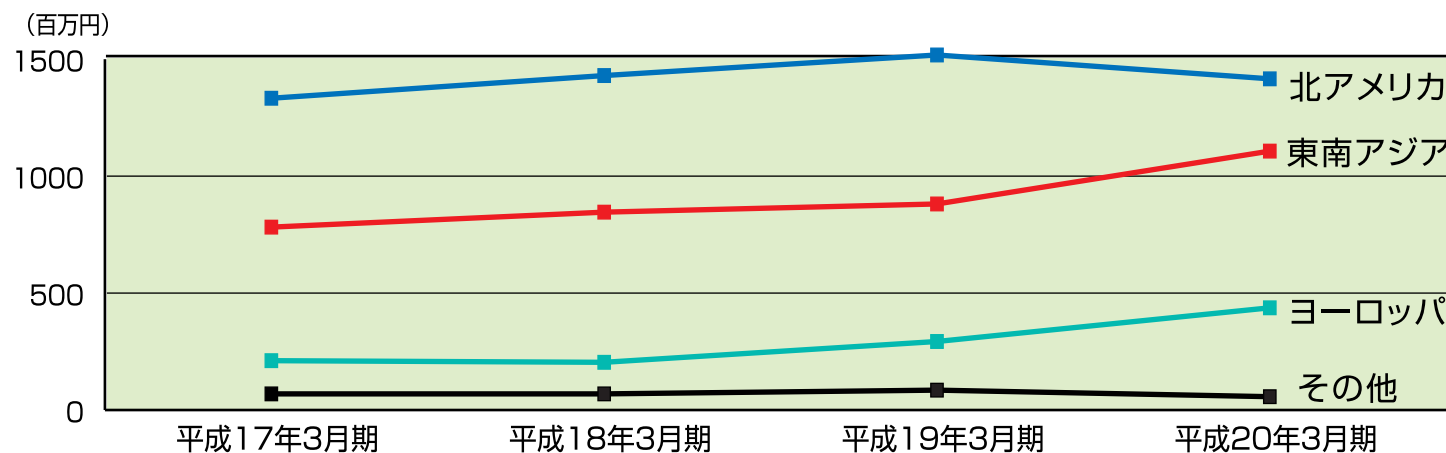


海外売上高

7

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
東南アジア	782	846	881	1,107
北アメリカ	1,333	1,430	1,518	1,416
ヨーロッパ	211	204	293	437
その他	69	69	85	57
合計	2,397	2,551	2,778	3,018



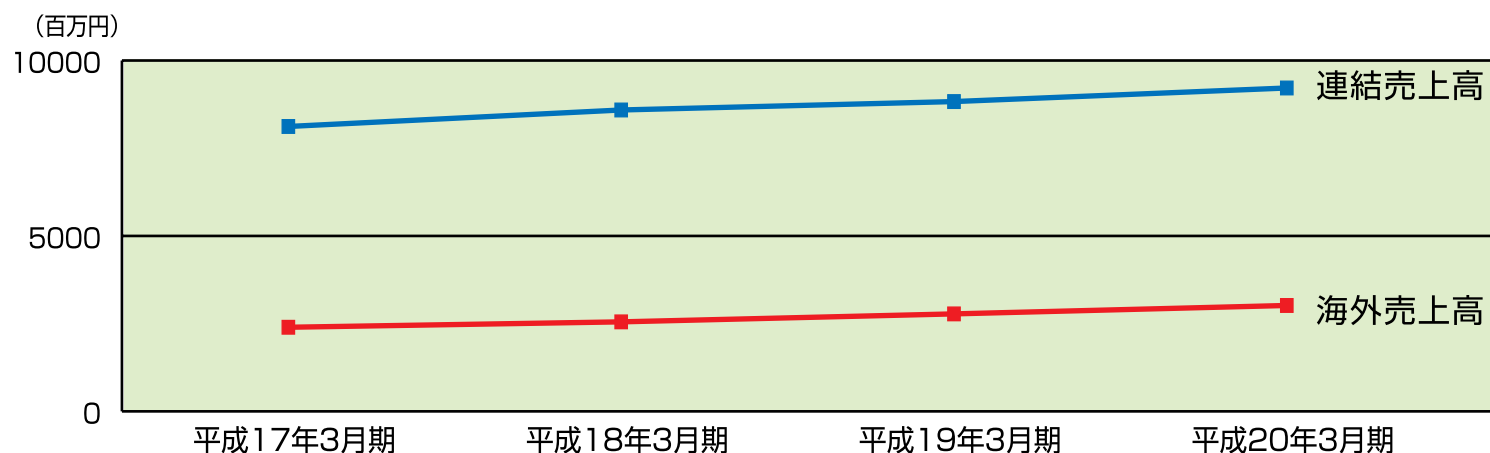
※海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

海外売上高と連結売上高合計

8

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期
海外売上高	2,397	2,551	2,778	3,018
連結売上高	8,120	8,590	8,830	9,217
連結売上高に 占める 海外売上高	29.5%	29.7%	31.5%	32.8%



※海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

通期の見通し(連結)

9

(単位:百万円)

	20年3月期	21年3月期		
	実績	見通し	増減	増減率(%)
売上高	9,217	9,100	△117	△1.3
経常利益	1,576	1,450	△126	△8.0
当期純利益	908	890	△18	△2.1

次期の見通し

国内では住宅産業の低迷が引き続く懸念や、好調を続けた産業界の設備投資に陰りが見え始める等の景気減速感があります。加えて原油価格・原材料価格の高騰や円高等、企業を取り巻く環境は予断を許さない状況です。海外ではサブプライムローン問題による米国経済の混迷が世界経済へ波及することが懸念されます。

このような状況におきまして連結売上高9,100百万円、営業利益1,400百万円、経常利益1,450百万円、当期純利益890百万円を予測しております。

本資料についてのご注意

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。